

令和4年度 第1回 浜松市立三方原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年5月18日（水） 午前10時10分から午前11時40分まで
- 2 開催場所 三方原小学校 会議室
- 3 出席委員 富永 厚平、小島 信夫、峰野 郁夫、川越 正一、杉山 まり子、
高瀬 清光、長谷 智恵、大石 千恵子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 藤原 明子
- 6 学 校 石川 博則（校長）、松下 欣美（教頭）、
岩崎 美日（CS担当教職員）、藤原 明子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 小川指導主事（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
 - （1）会長挨拶
 - （2）校長挨拶
 - （3）新規委員任命書交付
 - （4）自己紹介
 - （5）浜松市教育委員会より
 - （6）副会長の指名（会長より指名）
 - （7）議長の選出
 - （8）前回会議録確認
 - （9）熟議
 - 三方原小学校運営基本方針について
 - 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 藤原 明子
- 11 会議記録

司会の岩崎から、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）会長挨拶

昨年度からスタートしたコミュニティ・スクールを、2年目どのように進めていくか、どんな地域貢献できるか、少しずつ前に進めたらと思う。皆さん御協力お願いします。（富永会長）

（2）校長挨拶

2年目がスタートし、率直に皆さんの声をいただき地域と学校と一体となって改善及び充実を図りたい。今まであった助言、支援を生かして意見をいただいてCSを進めたい。

（3）新規委員任命書交付

任命書配布机上配付

(4) 自己紹介

それぞれ名前と役職を紹介。

(5) 浜松市教育委員会より

学校運営協議会規則及び同意書記入について説明があった。

(6) 副会長の指名

会長の富永委員から、峰野委員を副会長に指名する旨の報告があった。

(7) 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、立候補及び推薦人がいなかったため、事務局より会長の富永委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(8) 前回会議録確認

司会から、前回の会議録の要点を確認。

(9) 熟議

○三方原小学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・学校からの情報をメールにて伝達するのは良いことと捉えている。いじめの問題も積極的に指示していく方向性はよいと思うが、対策の方針はでていても、いじめ認定までの認識の差やプロセスを考えてもらいたい。問題を教育に生かせるよう、この一年で考えたい。

他、運動場の水はけが良くないので改善してほしい。(富永委員)

・いじめは敏感な対応が求められる。教員の姿勢、子供への指導を進める。目的はいじめについて理解させること。安全な学校、未然防止、初期対応、職員共通理解。将来につながる人格形成をしたい。(校長)

・私の小学校のときの例がある。対処の参考にしてほしい。(富永委員)

・授業参観のとき、クラスの数が多い気がした。何人ですか？教室は大丈夫か。(小島委員)

・最大35名。クラス増も空教室を利用すればできる。(教頭)

・通学の心配もあるので、地域でも気を付けていければよいと思う。(峰野委員)

・子供が増えて、元気な声が聞こえることはいいなと思う。歩道が狭く心配。家の庭やバス停で挨拶をしてくれるのが嬉しく思う。(杉山委員)

・グラウンドでの元気な声も楽しみ。運動会当日早朝、コンディションが悪い運動場の対応をしている教員を見て感謝していた。整備を早くしてほしいと思う。(大石委員)

・降雨の翌日、外で遊べないことでのストレスが心配。市が動いているか保護者も分からない。(高瀬委員)

・グラウンド整備に関することは優先順位が低い。学校としては随時あげている。(教頭)

・責任をもって浜松市が子供を育ててほしい。グラウンドデザインについては目標の方策と達成ができるのか把握が難しい。教育、友達と家庭、地域も協力して育てていけたらと思う。(高瀬会長)

・子供が自信をもてるよう、プロとして褒めることを大事に育てていきたい。(校長)

・安心して話せる学校、伝えたい学校、問いの授業を目指している。聞く話すスキル。

話すことが苦手な子も書いたりタブレットを使ったりしていこうと考える。自分の意見を伝えられる子になってほしい。(教頭)

・キャリア教育の教室掲示をし、話し合いをしている。年度初めに確認し、職員で共通理解もしている。旗振り時の大人からの挨拶や、進んで公園のゴミを拾う姿等、学校だけでなく周りの大人が子供を育てていると感じる。(岩崎)

・宿題は先生によって指導が違うが、信頼関係ができると先生が大好きになる。個を見つけてくれるとうれしく思う。(長谷委員)

・安全ボランティアとして活動しているときに、子供の名前が分からないので声をかけづらいが、子供から声をかけてくれることもありうれしい(富永委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

○夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校に必要な支援について説明があった。

全員異議なくこれを承認した。

(10) その他報告事項等

司会から、第2回協議会は令和4年9月21日(水)、第3回協議会は令和5年3月3日(金)会議室で開催する旨の報告があった。共に議長は、会長より峰野委員を指名。

CD藤原から、商工会の担当者及び地域の歴史に詳しい人材発掘の協力依頼があった。

教育委員会小川指導主事より、協議会でまとまった意見が学校にあがるといいと思うとの感想があった。